水産海洋学会創立 50 周年記念大会

期日：　2012 年 11 月 15 日（木）– 18 日（日）

会場：　東京大学伊藤国際学術研究センター
（〒113-0033　東京都文京区本郷 7 丁目 3-1　電話：03-5841-0779）

日程：

11 月 15 日（木）	12:00–	参加受付開始，創立 50 周年記念展示「水産海洋アーカイブズ」，機器展示開始
	13:00–18:00	シンポジウム「未来のために―地域が抱える課題の検証―」
	18:10–19:45	ナイトセッション「若手研究者の未来のために―研究環境の充実―」（３Ｆ中教室）
11 月 16 日（金）	09:30–12:00	シンポジウム「未来のために―地域が抱える課題の検証―」，ポスター展示開始（10:00–）
	12:00–13:30	幹事会（３Ｆ中教室）
	13:30–14:30	ポスター立ち会い発表，国際誌委員会（控室２）
	14:30–17:55	口頭発表，ポスター展示，機器展示
11 月 17 日（土）	09:15–11:55	口頭発表，ポスター展示，機器展示
	12:00–13:00	ポスター立ち会い発表， 学会賞受賞候補推薦委員会（控室２）
	13:00–15:00	口頭発表，ポスター展示，機器展示
	15:00–16:25	口頭発表
	16:30–17:10	功績者表彰
	17:15–18:00	宇田賞受賞記念講演
	18:10–20:10	水産海洋学会創立 50 周年祝賀会
11 月 18 日（日）	09:00–11:55	口頭発表
	13:00–15:00	口頭発表
	15:00–15:15	若手優秀講演賞表彰

参加費：　一般会員 4,000 円，非会員 5,000 円，学生 2,000 円（事前申込，要旨集代含む）
当日申し込みは＋1,000 円

祝賀会：　11 月 17 日（土）18:10–20:10
会場：伊藤国際学術研究センターＢ２Ｆ多目的スペース
会費：一般 5,000 円，学生 3,000 円（当日申し込みは＋1,000 円）
祝賀会の参加申込は当日（11 月 17 日）13:00 まで受け付けます.

開催要項 HP：　http://lmr.aori.u-tokyo.ac.jp/feog2012/index.html

実行委員会：

＜大会委員長＞	渡邊良朗	＜機器展示担当＞	小松輝久
＜実行委員長＞	木村伸吾	＜研究発表担当＞	小松幸生
＜事務局長・会計＞	平松一彦	＜申し込み受付担当＞	伊藤幸彦
		＜祝賀会担当＞	北川貴士

連絡先：　大会事務局（平松一彦，　Tel: 04-7136-6251，　jsfo2012jimu@aori.u-tokyo.ac.jp）

研究発表大会プログラム

口頭発表（伊藤謝恩ホール）

1．　発表時間は 15 分間（質疑 3 分間を含む）です．10 分後に第 1 鈴，12 分後に第 2 鈴，15 分後に第 3 鈴（最終鈴）が鳴ります．発表時間は交代に要する時間を含みます．
2．　○印は発表者です．発表者は会場受付に発表用のファイルを持参ください．
3．　演題・著者・所属は，基本的にお申し込みいただいた形式で記載していますが，一部は書式や所属略称を変更しています．

第1日　11 月 16 日（金）

海況

（座長：謝 旭暉）

01.　14:30–14:45　北海道東部太平洋沿岸域における水塊変質
○日下 彰（水研セ中央水研）・東屋知範・川崎康寛（水研セ北水研）

02.　14:45–15:00　2010 年夏季の陸奥湾における異常高水温の発生についての考察
○伊藤進一・筧 茂穂・和川 拓（水研セ東北水研）・清藤真樹・吉田 達（青森水研）・田中淳也（青森県）・ 竹内一浩（いであ）・ 磯田 豊（北大水産）・川村 宏（東北大）

03.　15:00–15:15　気候変動に伴う水産資源・海況変動予測技術の革新と実利用化（1）
○石川洋一（JAMSTEC）・淡路敏之（JAMSTEC／京大）・蝦名政仁（青森産技セ）・酒井光夫（水研セ国際水研）・小山田耕二（京大）・齊藤誠一（北大）・蒲地政文（気象研）

（座長：日下 彰）

04.　15:15–15:30　日本海盆における自動昇降装置を用いた海洋構造の連続観測
○渡邊達郎（水研セ日水研）

05.　15:30–15:45　漁業のための衛星データ処理方法と応用
○謝 旭暉（JAFIC）・友定 彰（東大大海研）・岩田 静夫（元神奈川水試セ）

06.　15:45–16:00　筑後川流域から有明海への鉄を中心とした物質動態に関する研究
○山本光夫（東大院新領域／大海研）・劉 丹（有明高専）・笠井亮秀（京大院農）・田中 克（国際高等研）

（座長：山本光夫）

07.　16:00–16:15　小浜湾における基礎生産に海底湧水が及ぼす影響
○本田尚美（福井県大院）・杉本 亮（福井県大海洋生物資源）・小林志保（京大院農）・田原大輔・富永 修（福井県大海洋生物資源）・谷口真人（地球研）

16:15–16:25　休憩（１０分間）

08. 16:25–16:40 三陸沖合における津波による漂流物および深海底蓄積ゴミについて
〇柴田晴佳（北里大学）・古島靖夫（JAMSTEC）・後藤友明（岩手水技セ）・三宅裕志（北里大学）・藤倉克則（JAMSTEC）

09. 16:40–16:55 大正関東大震災による相模湾における定置網の被害
〇石戸谷博範（神奈川水技セ相模湾）

漁況

（座長：城 幹昌）

10. 16:55–17:10 10 年スケール水温変動とさば類漁獲量変動
〇友定 彰（東大大海研）

11. 17:10–17:25 東北沖合におけるメバチマグロの漁場形成について
〇為石日出生・本田 修・高口俊之・細窪 迅（JAFIC）・友定 彰（東大大海研）・細萱安彦（前 JAFIC）

12. 17:25–17:40 Research and development of potential fishing zone of Japanese common squid in coastal waters of southwestern Hokkaido, Japan
〇張 勲・齊藤誠一・平譯 享・亀井佳彦・小林直人（北大院水産）

13. 17:40–17:55 宇和海におけるマアジ幼魚の来遊と暖水流入の関連について
〇橋田大輔（愛媛水研セ）

第 2 日 11 月 17 日(土)

プランクトン

（座長：白藤徳夫）

14. 9:15–9:30 駿河湾内における円石藻の５年間の出現傾向：種と細胞サイズの解析
〇萩原直樹・千賀康弘・仁木将人・杉本隆成（東海大海洋）

15. 9:30–9:45 日本周辺水域におけるメソ動物プランクトン標本の保存・管理および利活用
〇田所和明・岡崎雄二・筧 茂穂（水研セ東北水研）・高須賀明典・市川忠史・日高清隆（水研セ中央水研）・杉崎宏哉（水研セ）

16. 9:45–10:00 オオバウチワエビ幼生とクラゲとの関係
〇田中祐志・若林香織・大竹周作・石井晴人（海洋大科学）・秋葉龍郎（海洋大科学／産総研セルエンジニアリング）

卵稚仔

（座長：田所和明）

17. 10:00–10:15 ズワイガニ数値幼生の若狭湾沖合域への適用性解析
〇瀬戸雅文（福井県大海洋生物資源）・小西望美（京都網野高）・山本岳男（水研セ日水研）

18. 10:15–10:30 北海道厚岸湖におけるニシン仔稚魚の分布特性
〇白藤徳夫（水研セ東北水研）・中川 亨（水研セ北水研）・森岡泰三（水研セ瀬戸内水研）・村上直人・市川 卓（水研セ北水研）・武山 悟（厚岸湾ニシン資源育成協議会）・谷内俊之（厚岸漁協）・安藤 忠（水研セ）

10:30–10:40　休憩（１０分間）

19. 10:40–10:55　北海道周辺モデルを用いたスケトウダラ太平洋系群の卵稚仔輸送実験～噴火湾内への輸送・滞留に与える浮力の効果～
○黒田 寛（水研セ北水研）・高橋大介（東北大院農）・東屋知範（水研セ北水研）・三寺史夫（北大低温研）

（座長:黒田 寛）

20. 10:55–11:10　夏季の道南・道東海域におけるカタクチイワシの産卵と仔魚の分布
○林 晃・武邑沙友里・伯耆匠二・張 愷・中村慎太郎・張 輝・猿渡敏郎・河村知彦・渡邊良朗（東大大海研）

21. 11:10–11:25　北海道オホーツク海産マガレイ稚魚の孵化日・成長履歴と年級群豊度との関係
○城　幹昌（道網走水試）・和田昭彦（道中央水試）

22. 11:25–11:40　サバ類卵稚仔の伊豆諸島周辺～犬吠崎沖海域における出現状況（2012 年 4 月）
○高橋正知・本田 聡・久保田洋・川端 淳・渡邊千夏子（水研セ中央水研）・斉藤真美（日本エヌ･ユー・エス）

23. 11:40–11:55　資源高水準期におけるマダイ瀬戸内海東部系群の産卵場
○銭谷 弘（水研セ瀬戸内水研）・小畑泰弘（水産庁）

12:00–13:00　ポスター立ち会い，学会賞受賞候補推薦委員会

魚類

（座長:高橋正知）

24. 13:00–13:15　刺網の目合とナルトビエイの捕獲サイズの関係
○宇野 潔・城内智行（九州環境協会）・山口敦子・中田英昭（長大院水環）・原 武史（全国水産技術者協会）・西村 明（水研セ西海水研）・山口信司（農水省九州農政局）

25. 13:15–13:30　ニシンの産卵親魚および卵仔魚サイズの海域間比較
○武邑沙友里（東大大海研）・白藤徳夫（水研セ東北水研）・山根広大（東大大海研）・堀井貴司（道釧路水試）・河村知彦・渡邊良朗（東大大海研）

26. 13:30–13:45　濁りによるカタクチイワシ仔魚の成長率の向上
○大畑亮輔・益田玲爾・山下 洋（京大フィールド研）

27. 13:45–14:00　人為的環境改変がニホンウナギの分布や成長に与える影響
○板倉 光・北川貴士・木村伸吾（東大院新領域／大海研）

モデル･GIS

（座長:高原英生）

28. 14:00–14:15　海洋保護区の効果に関する数理的研究
○高科 直（九大シス生）・舞木昭彦（龍谷大理工）

29. 14:15–14:30　Boids Algorithm を用いたイカ釣り操業モデルの構築
○田丸 修・高山 剛・高原英生・長谷川英一・渡部俊広（水研セ水工研）

14:30–14:40　休憩（１０分間）

30.　14:40–14:55　水産 GIS の進展、現状および展望：過去５回の水産 GIS 国際シンポジウムより

〇西田 勤（水産 GIS 国際学会）・Bill Fisher（米国水産学会）・Geoff Meaden（英国カンタベリー大学）・Jim Kapetsky（国連 FAO）・伊藤喜代志（水産 GIS 国際学会）

（座長：田丸 修）

31.　14:55–15:10　生態学における奇妙な論理（２）

〇赤嶺達郎（水研セ中央水研）

沿岸資源

32.　15:10–15:25　マアジ卵の水温別発生所要時間および大分県沿岸域における産卵量の推定

〇西山雅人・中里礼大・堀切保志・徳光俊二（大分水研）・斉藤真美（日本エヌ・ユー・エス）

33.　15:25–15:40　鹿児島県海域における春季流れ藻及びモジャコ来遊量変動

〇宍道弘敏（鹿児島水技セ）・水野紫津葉・小松輝久（東大大海研）

（座長：宍道宏敏）

34.　15:40–15:55　日向灘における小型浮魚類の漁獲動向

〇福田博文（宮崎水試）

35.　15:55–16:10　冬期水温の年変動とシロクラベラ加入量との関係

〇太田 格（沖縄水海研セ）

36.　16:10–16:25　夏季の対馬周辺海域におけるエチゼンクラゲ（*Nemopilema nomurai*）の鉛直分布

〇高原英生・高尾芳三（水研セ水工研）・松倉隆一（水研セ日水研）・貞安一廣（水研セ開発セ）

功績者表彰

16:30–17:10

宇田賞受賞記念講演

17:15–18:00　黒潮・親潮混合域の環境変動のメカニズムと魚類資源に及ぼす影響に関する研究

伊藤 進一（水研セ東北水研）

水産海洋学会創立 50 周年祝賀会

18:10–20:10　伊藤国際学術研究センター　多目的スペース

第３日　11 月 18 日（日）

沿岸資源

（座長：山根広大）

37. 9:00–9:15　春季の水温が日本海産カタクチイワシ仔魚・成魚の餌料環境に及ぼす影響
○森本晴之・後藤常夫・井口直樹（水研セ日水研）

38. 9:15–9:30　常磐海域のヒラメ成育場におけるアミ類をめぐる魚類の食物関係
○冨山 毅（広大院生物圏科）・上原伸二（水研セ日水研）・栗田 豊（水研セ東北水研）

39. 9:30–9:45　アーカイバルタグを用いて推定したブリの太平洋東北海域からの回遊様式
○阪地英男（水研セ中央水研）・片山俊之（神奈川水技セ相模湾）・平井一行（静岡水技研伊豆）・中瀬 優（三重水研）・梶 達也（高知水試）・福田博文（宮崎水試）・宍道弘敏（鹿児島水技セ）

40. 9:45–10:00　2012 年に発生したスケトウダラ日本海北部系群の高豊度年級群について
○千村昌之・田中寛繁・山下夕帆（水研セ北水研）・本田 聡（水研セ中央水研）

（座長：千村昌之）

41. 10:00–10:15　九州西岸域におけるカタクチイワシ資源と環境変動の関係
○竹茂愛吾（東大院新領域／大海研）・三宅陽一・中田英昭（長大院水環）・北川貴士・木村伸吾（東大院新領域／大海研）

42. 10:15–10:30　宮古湾におけるニシン仔稚魚の孵化日と成長 —地震・津波前後での比較—
○山根広大（東大大海研）・長倉義智（水研セ東北水研）・河村知彦・渡邊良朗（東大大海研）

10:30–10:40　休憩（１０分間）

43. 10:40–10:55　陸奥湾におけるマクロベントス密度と群集型と経年変化
○篠田晃司・髙津哲也・梶谷俊介・井上翔一・瀬田智文・稲垣祐太（北大院水産）

44. 10:55–11:10　Discussion on food availability for Japanese scallop in Funka bay
○Seokjin Yoon（北大院水産）, Satoshi Nakada（京大院理）, Yoichi Ishikawa（JAMSTEC）, Michio J. Kishi and Sei-Ichi Saitoh（北大院水産）

（座長：尹 錫鎮）

45. 11:10–11:25　カキ殻による底質改善における物理的効果と化学的効果
○山本民次（広大院生物圏科）・田中丈裕（海洋建設）

46. 11:25–11:40　東京湾におけるマコガレイの産卵場
○石井光廣（千葉水総研セ）・片山知史（東北大院農）・小畠大典（漁港漁場漁村技研）・内藤大輔・柳川竜一（中電シーティーアイ）

47. 11:40–11:55　マコガレイ漁獲量変動の海域間比較
○片山知史（東北大院農）

ほ乳類・鳥類

（座長：加藤慶樹）

48. 13:00–13:15　アリューシャン列島周辺海域における海鳥の洋上分布とその海洋環境
○西沢文吾・綿貫 豊・齊藤誠一（北大院水産）

49. 13:15–13:30　北西太平洋におけるイワシクジラおよびニタリクジラの空間分布と季節変動の解明
○佐々木裕子（北大院水産）・村瀬弘人（水研セ国際水研）・松岡耕二（日鯨研）・齊藤誠一（北大院水産）

沖合資源

50. 13:30–13:45　環境指数を媒介とした南極オキアミ資源の生態傾度と変動の把握
○永延幹男（水研セ国際水研）・蓮沼啓一（海洋総研）・轡田邦夫（東海大海洋）

51. 13:45–14:00　魚鱗堆積量に見られるマイワシアバンダンスの数百年スケール変動
○加 三千宣（愛媛大上級研究員セ）・武岡英隆（愛媛大沿岸セ）・杉本隆成（東海大海洋）

（座長：加 三千宣）

52. 14:00–14:15　八丈島周辺海域からのカツオの移動と魚体の関係
○堀井善弘・牧 茂（東京島しょ農林水セ）

53. 14:15–14:30　2012 年 3 月の銭洲海域におけるマサバ漁場形成
○岡部 久・清水顕太郎・石井 洋（神奈川水技セ）・川島時英・黒田敬子・岡本 隆・馬渕康彦（千葉水総研セ）・吉田 彰・高木康次（静岡水技研）・前田洋志・東元俊光（東京島しょ農林水セ）

54. 14:30–14:45　マイワシ mtDNA 変異のコアレセント・シミュレーションによる個体群動態の推定
○丹羽洋智・柳本 卓・梨田一也（水研セ中央水研）

55. 14:45–15:00　マイワシ太平洋系群の最近の加入動向
○川端 淳・須原三加・本田 聡・久保田洋・高橋正知・渡邊千夏子（水研セ中央水研）

若手優秀講演賞表彰

15:00–15:15

ポスター発表（多目的スペース）

ポスター掲示期間：　11 月 16 日（金）10:00 － 11 月 17 日（土）15:00
発表者立ち会い説明：11 月 16 日(金) 13:30-14:30, 17 日(土) 12:00-13:00

1．　サイズ：A0 サイズ（841mm×1189mm）が貼付け可能な縦型パネルとテープなどを用意します.
2．　掲示：ポスターの掲示は 11 月 16 日(金) 10:00 から可能です.
3．　下記に指定された日程は立ち会い説明をお願いします（それ以外も可能です）.
　　奇数番号のポスター：　11 月 16 日(金) 13:30-14:30
　　偶数番号のポスター：　11 月 17 日(土) 12:00-13:00
4．　撤収：11 月 17 日(土) 16:00 までに各自で撤収して下さい．これ以降に残されたポスターは，実行委員会で処分します.

P01　気候変動に伴う水産資源・海況変動予測技術の革新と実利用化（2）アカイカ秋生れ群資源変動と北太平洋における海洋環境変動との関係について

○五十嵐弘道（JAMSTEC）・淡路敏之（JAMSTEC／京大）・石川洋一・西川 悠・増田周平（JAMSTEC）・酒井光夫・加藤慶樹・一井太郎（水研セ国際水研）・齊藤誠一（北大院水産）

P02　気候変動に伴う水産資源・海況変動予測技術の革新と実利用化（3）アカイカ冬春季産卵群の初期餌環境が資源量変動に及ぼす影響

○西川 悠・石川洋一・五十嵐弘道（JAMSTEC）・酒井光夫・加藤慶樹（水研セ国際水研）・佐藤晋一（青森水総研セ）・碓氷典久（気象研）

P03　気候変動に伴う水産資源･海況変動予測技術の革新と実利用化(4) Seasonal potential fishing grounds of neon flying squid (*Ommastrephes bartramii*) in the western North Pacific inferred from GAM and Maxent models

○Irene D. Alabia・齊藤誠一（北大院水産）・Robinson Mugo（ケニア国立水産研）・五十嵐弘道・石川洋一（JAMSTEC）・碓氷典久・蒲地政文（気象研）・淡路敏之（JAMSTEC／京大）

P04　気候変動に伴う水産資源・海況変動予測技術の革新と実利用化（5）GLM を用いた北太平洋アカイカ漁場の時空間解析

○加藤慶樹・酒井光夫（水研セ国際水研）・松浦 浩（CRI）・五十嵐弘通・石川洋一（JAMSTEC）・碓氷典久・蒲池政文（気象研）・淡路敏之（JAMSTEC／京大）

P05　気候変動に伴う水産資源・海況変動予測技術の革新と実利用化（6）VMS データと衛星データを用いたアカイカ生息域特性解析

○齊藤誠一・Irene D. Alabia（北大院水産）・五十嵐弘道（JAMSTEC）・伊藤喜代志（ESL）

P06　気候変動に伴う水産資源・海況変動予測技術の革新と実利用化（7）漁場予測のためのバイオテレメトリーによるアカイカ鉛直分布の把握

○酒井光夫・加藤慶樹（水研セ国際水研）・中神正康（水研セ東北水研）・若林敏江（水研セ国際水研）・五十嵐弘道（JAMSTEC）･淡路敏之（JAMSTEC／京大）

P07　東北水研着底トロール調査 CTD 観測に基づく東北近海域の底層水温変化

○清水勇吾（水研セ中央水研）・伊藤正木・服部 努・成松庸二（水研セ東北水研）

P08　仙台湾における ADCP 往復調査による残差流の推定

○筧 茂穂（水研セ東北水研）・佐々木浩一（東北大院農）・伊藤進一・和川 拓（水研セ東北水研）

P09　若狭湾海域における流動構造の基本特性

○都築 純・兼田淳史（福井県大海洋生物資源）・鮎川航太（福井水試）

P10　クロマグロ産卵期の琉球列島周辺海域における海洋環境

○亀田卓彦・鈴木伸明（水研セ西海水研亜熱帯セ）・増島雅親（水研セ中央水研）・石原大樹・清水庄太（水研セ国際水研）・青沼佳方（水研セ西海水研亜熱帯セ）

P11　黒潮Ｎ型流路変動に応答する内側域の海況変化

○清水 学・瀬藤 聡（水研セ中央水研）

P12　岩手県沿岸域における水質の鉛直構造と時間変動

○和川 拓・伊藤進一・筧 茂穂（水研セ東北水研）・黒田 寛（水研セ北水研）・山野目健・加賀新之助（岩手水技セ）

P13　多項目観測漂流ブイで見られた遠州灘沖の急激な水塊変動

○小松幸生（東大院新領域／大海研）・廣江 豊（水研セ中央水研／東大大海研）・伊藤幸彦・安田一郎（東大大海研）

P14　海況予測システム FRA-ROMS による現況把握・海況予測

○瀬藤 聡（水研セ中央水研）・黒田 寛・東屋 知範（水研セ北水研）・伊藤 進一・筧 茂穂・奥西 武（水研セ東北水研）・稲掛 伝三・廣江 豊・清水 学・青木一弘・岡崎 誠・渡邊朝生（水研セ中央水研）・種子田 雄（水研セ西海水研）

P15　夏季の七尾西湾における栄養塩分布に地下水湧出が及ぼす影響

○杉本 亮・本田尚美（福井県大海洋生物資源）・鈴木智代（金沢大自然科学）・落合伸也（金沢大環日本海セ）・谷口真人（地球研）・長尾誠也（金沢大環日本海セ）

P16　三陸沖合における海洋環境（長期）モニタリング調査について

○古島靖夫・脇田昌英・小栗一将・川上創・渡邉修一・藤倉克則（JAMSTEC）

P17　北海道沿岸における秋の高水温がサケの来遊に与える影響

○宮腰靖之（道さけます内水試）・山口 紘・篠原 陽・宮下和士（北大フィールド科セ）

P18　初夏の東シナ海における着底トロールによるマアジ幼魚現存量とその後の漁獲過程

○依田真里・日高浩一・大下誠二（水研セ西海水研）

P19　サンマ資源減少期における道東海域の漁場形成について

○渡邉一功（JAFIC）・中神正康・巣山 哲（水研セ東北水研）

P20　静岡県海域におけるシラス漁況の短期変動と降雨の関係

○長谷川雅俊（静岡水技研）

P21　オホーツク沿岸海跡湖能取湖におけるアイスアルジーと植物プランクトンのクロロフィル *a* 濃度からみた動態

○西野康人・中川至純・谷口 旭（東農大生物産業）

P22　伊豆海嶺周辺海域におけるパラカラヌス属カイアシ類の空間分布と島陰効果の影響

○日高清隆（水研セ中央水研）・野々村卓美（鳥取栽培漁業セ）・小松幸生（東大院新領域／大海研）・伊藤幸彦・安田一郎・池谷 透（東大大海研）・木村伸吾（東大院新領域／大海研）

P23　ミズクラゲ大発生要因の整理と考察～発生予測を目指して～

○藤井直紀（佐賀大低平地沿岸セ）・武岡英隆（愛媛大沿岸セ）

P24　ヒラメ浮遊仔魚の分布水温の海域差

○大嶋真謙（京大 CoHHO ユニット）・上原伸二（水研セ日水研）・栗田 豊（水研セ東北水研）・米田道夫（水研セ瀬戸内水研）・上野正博・山下 洋（京大フィールド研セ）

P25　南西諸島海域におけるクロマグロ稚魚の分布環境

○岡崎 誠・瀬川恭平（水研セ中央水研）・石原大樹・阿部 寧（水研セ国際水研）

P26　海洋環境変動に伴う日本沿岸へのマアナゴ仔魚の来遊機構

○矢倉浅黄（東大大海研）・黒木洋明（水研セ中央水研）・北川貴士・木村伸吾（東大院新領域／大海研）

P27　気候変動に伴う仔魚輸送時間の変化がニホンウナギ来遊量に与える影響

○銭本 慧（長大院水環）・木村伸吾（東大院新領域／大海研）

P28　回帰サケの省エネ行動　－夜間は月光が道案内－

○長谷川英一（水研セ水工研）

P29　涸沼ニシン：忘れられ、無視された絶滅危惧地域個体群

○猿渡敏郎（東大大海研）・小藤一弥（アクアワールド大洗）

P30　飼育下におけるマイワシの産卵誘導

○五十嵐修吾（九大院農）・北野 載（九大院農唐津水研セ）・入路光雄（九大院農）・米田道夫（水研セ瀬戸内水研）・清水昭男（水研セ中央水研）・松山倫也（九大院農）

P31　伊勢湾小型底曳網漁業対象種の資源量と海洋環境の経年変動の解析

○青木一弘・児玉真史（水研セ中央水研）・黒木洋明・鈴木重則（水研セ増養殖研）・日比野学・原田 誠・青山高士（愛知水試）・津本欣吾・丸山拓也・中瀬 優（三重水研）

P32　リモートセンシングを用いたサンゴ礁池内 seagrass の空間分布に関する研究

○澤山周平・小松輝久（東大大海研）・Nurjannah Nurdin（Hasanuddin University）

P33　東シナ海における流れ藻とモジャコの分布

○水野紫津葉・小松輝久（東大大海研）・鰺坂哲朗（京大院農）・國分優孝・Natheer M. Alabsi・阪本真吾（東大大海研）・青木優和（東北大院農）・宍道弘敏（鹿児島水技セ）

P34　シミュレーションを用いた中南海域から日本沿岸へのカツオ幼魚の来遊

○増島雅親（水研セ中央水研）・清藤秀理（水研セ国際水研）

P35　浅海域における生物調査のフィールド教育への実践

○岩崎貞治・上村泰洋・平井香太郎・毛利紀恵・木下 光・小路 淳（広大生物圏竹原ステーション）

P36　気仙沼湾における底質中の流出油に関する調査

○弓木麻記子・河野恵理子・島田克也（いであ）・吉永郁生（京大農）・横山勝英（首都大）

P37　福島原子力事故後太平洋北西部におけるサンマの体内 ^{137}Cs 濃度の推定

○今井和子（東大院新領域／大海研）・岸 道郎（北大院水産）・木村伸吾（東大院新領域／大海研）

P38　高次栄養段階生物に着目した東京湾の生態系動態

○坂本絢香・白木原国雄（東大院新領域／大海研）

P39　北川流域における栄養塩動態：土地利用形態の違いが小浜湾への栄養塩フラックスに及ぼす影響

○坪井智子（福井県大院生物資源）・杉本 亮・田原大輔・富永 修（福井県大海洋生物資源）

P40　陽光丸 ME70 による魚群三次元表記の試み

○安部幸樹（水研セ水工研）・大下誠二（水研セ西海水研）・田中寛繁（水研セ北水研）・安田十也・高橋素光（水研セ西海水研）

P41　飼育下での LED 灯によるヤリイカの行動制御

○鳴海 誠（北大院水産）・高山 剛（水研セ水工研）・桜井泰憲（北大院水産）

水産海洋アーカイブズ（多目的スペース）

水産海洋学の歴史において重要であった研究課題や歴史的な水産海洋イベントを取り上げて，その研究に中心的に携わった研究者の活動のようすがわかる試資料を展示するとともに，研究の経過や成果の概要をポスター展示することで，水産海洋学の歴史を飛び石的に振り返り，今後の研究展開の資料とする．

①水産海洋学の黎明（宇田道隆）
②卵稚仔調査と資源変動研究（中井甚二郎）
③漁場形成と漁海況予報（木村喜之助）
④北洋研究とサケマス漁業（辻田時美）
⑤レジームシフトと資源変動（川崎 健）
⑥水産資源と海洋環境（平野敏行）
⑦異常冷水と定線調査
⑧赤潮と内湾環境（岡市友利）
⑨親潮と黒潮（川合英夫）

水産海洋学会創立50周年記念シンポジウム
「未来のために―地域が抱える課題の検証―」

日時：2012年11月15日（木）13:00 – 16日（金）12:00
場所：東京大学伊藤国際学術研究センター
コンビーナー：木村伸吾（東大院新領域/大海研）・笠井亮秀（京大院農）・岡崎雄二（水研セ東北水研）・北川貴士（東大院新領域/大海研）・伊藤幸彦（東大大海研）・三宅陽一（長大院水環）・志田 修（道中央水試）・宮下和士（北大フィールド科セ）・市川忠史（水研セ中央水研）・富永 修（福井県大海洋生物資源）・小路 淳（広大生物圏科）・中田英昭（長大院水環）・和田時夫（水研セ）・桜井泰憲（北大院水産）
開催趣旨概要：水産海洋学会創立50周年の節目の年を迎えるに当たり，水産海洋学会が得意としてきた漁業現場と密接に接しながら水産試験場，水産研究所，大学の研究者が横に連携してボトムアップで問題提起ができる研究スタイルの継承を目指し，水産海洋学会としてこれから解決すべき課題の方向性を示すことを目的にシンポジウムを開催する．

11月15日（木）

水産海洋学会長挨拶 13:00–13:05
桜井泰憲（北大院水産）

趣旨説明 13:05–13:10
木村伸吾（東大院新領域/大海研）

① 沿岸性魚介類の変動実態：減っている資源・増えている資源
（座長：岡崎雄二・市川忠史）

・ 瀬戸内海における沿岸性主要資源の漁獲変動 13:10–13:35
山本昌幸（香川水試）・大美博昭（大阪環農水総研）・宮原一隆（兵庫水技セ）
・ 日本海南西海域における浮魚資源の漁獲変動と加入動向 13:35–14:00
志村 健（鳥取水試）・大下誠二・依田真理（水研セ西海水研）・安木 茂・寺門弘悦（島根水技セ）・内川和久・田 永軍（水研セ日水研）
・ 中部太平洋の内湾域における底生水産資源の変動 14:00–14:25
日比野 学（愛知水試漁生研）・水野知巳（三重水研鈴鹿）・田島良博（神奈川水技セ）
・ 北海道日本海・オホーツク海における底魚主要資源の変動 14:25–14:50
板谷和彦（道稚内水試）・城 幹昌（道網走水試）
・ 北太平洋におけるマイワシ・カタクチイワシ類の生態比較 14:50–15:15
高橋素光（水研セ西海水研）

休憩 15:15-15:30

②沿岸域の水産資源管理：水産海洋研究に何が求められているか？
（座長：北川貴士・三宅陽一）

・ 加工流通が必要とする水産資源とは何か 15:30–15:55
廣田将仁（水研セ中央水研）
・ 水産システムの中間点でどのような漁業管理研究ができるのか？ 15:55–16:20
金子貴臣（水研セ中央水研）
・ 伊勢・三河湾におけるイカナゴ資源管理の現状と課題 16:20–16:45
鵜嵜直文（愛知水試漁生研）・藤原正嗣（三重水研鈴鹿）・山本敏博（水研セ増養殖研）
・ 漁業者の合意形成に資するマナマコ高精度資源評価システム 16:45–17:10
佐野 稔（道稚内水試）
・ 震災復興と沿岸漁業の再生 17:10–17:35
後藤友明（岩手水技セ）
・ 海況情報提供における広域連携と漁船情報活用の取り組み 17:35–18:00
渡慶次 力（宮崎水試）・萩原快次（静岡県庁）・岡部 久（神奈川水技セ）

③ナイトセッション：若手研究者の未来のために―研究環境の充実― 18:10–19:45

（座長：笠井亮秀・富永 修）

- 研究環境の改善
- 未整理データの活用
- 水産海洋学会に対する潜在的ニーズ・期待の発掘
- 漁業者・研究者・技術者間のコミュニケーションの活性化

11月16日（金）

④複合生態系：生息域・栄養段階の連関

（座長：伊藤幸彦・宮下和士）

- 高次捕食者から捉える有明海生態系の構造と機能の解明に向けて 9:30– 9:55
  山口敦子（長大院水環）
- 生態系アプロ-チによる漁業管理とはどのようなものか 9:55–10:20
  牧野光琢（水研セ中央水研）
- 東北沖生態系がどのように変化してきたのか –漁業と捕食者データから探る– 10:20–10:45
  米崎史郎・清田雅史（水研セ国際水研）・岡村 寛（水研セ中央水研）
- 漁業生産の維持を目指した栄養塩管理の取り組み 10:45–11:10
  宮原一隆・原田和弘・反田 實（兵庫水技セ）・山本昌幸（香川水試）
- 浮魚の成長モデルによる資源変動機構の理解へのアプローチ 11:10–11:35
  奥西 武（水研セ東北水研）

総合討論 11:35–12:00

（座長：和田時夫）